『立命館国際研究』編集・発行規程

(2013年5月28日立命館大学国際関係学会総会決定)

(2016年7月5日改訂・2022年6月7日改訂)

(『立命館国際研究』)

第1条 立命館大学国際関係学会は、『立命館国際研究』を発行する。

(編集委員会)

第2条 『立命館国際研究』発行のために編集委員会を置く。

2 編集委員会は、立命館大学国際関係学部研究・学会委員会の委員をもって構成する。

3 編集委員会には、編集責任者1名を置く。

(発行回数)

第3条 『立命館国際研究』は、原則として、年3回発行する。ただし第5条に掲げる場合などに、臨時に増刊することもできる。

(合併号)

第4条 編集委員会は、特別な事情があるときは、『立命館国際研究』の2号以上の合併号を発行することができる。ただし、複数年度(複数巻)にわたる合併号を発行することはできない。

(特別号)

第5条 立命館大学国際関係学部教員が定年により退職する場合、その他特別の事情がある場合、編集委員会は、特別号の発行を決定することができる。

(投稿者)

第6条 『立命館国際研究』に投稿することができる者は、以下に掲げる者とする。ただし、(4)に掲げる者を除き、立命館大学国際関係学会会員であることを条件とする。

- (1) 立命館大学国際関係学部および立命館大学大学院国際関係研究科専任教員
- (2) 過去に立命館大学国際関係学部専任教員および立命館大学大学院国際関係研究科専任教員であった者
- (3) 立命館大学大学院国際関係研究科博士課程後期課程に在籍する院生および同研究科所属の研究生で、本学大学院国際関係研究科『立命館国際関係論集』(院生論集)に論文の発表実績を有する者。但し、国内外を問わず、査読誌(refereed journal)に論文発表実績を有する者は、本学大学院国際関係研究科『立命館国際関係論集』(院生論集)に論文の発表実績を有しない者であっても投稿を認める。なお、査読誌(refereed journal)は掲載予定証明書でも認めるものとする。
- (4) その他、編集委員会が特に認めた者

(依頼原稿)

第7条 編集委員会は、立命館大学国際関係学会の活動に関連して、委員会が適切と判断する者に対して、『立命館国際研究』へ論説、報告、書評、その他の学術的原稿の寄稿を依頼することができる。

(掲載原稿)

第8条 『立命館国際研究』は、論説、研究ノート、書評、その他学術的価値を有する原稿を掲載する。ただし、第6条(2)～(4)に掲げる者による投稿は、論説に限る。

- 2 原稿は、『立命館国際研究』執筆要項にしたがって書かれたものでなければならない。
- 3 同一原稿の他誌への重複投稿を禁ずる。

(添付文書)

第9条 第6条(3)に掲げる者は、投稿に際して、1500字程度の要旨および指導教員または指導教員に準ずる者の推薦書を添付しなければならない。

2 第6条(4)に掲げる者は、投稿に際して、立命館大学国際関係学部専任教員または立命館大学大学院国際関係研究科専任教員の推薦書を添付しなければならない。

(審査の委嘱)

第10条 編集委員会は、必要と認める場合、2名または3名の審査委員に原稿の審査を委嘱することができる。

2 編集委員会は、第6条(3)および(4)に掲げる院生および研究生の投稿を受理したとき、必ず審査委員に審査を依頼しなければならない。この場合、指導教員が審査委員となることはできない。

(掲載許可の決定)

第11条 編集委員会は、審査の委嘱が行われたときは、審査委員による報告に基づいて、掲載の許可しないしは不許可の決定を行う。

2 編集委員会は、掲載を許可する原稿について、投稿者に誤記の訂正その他の修正指示を与えることができる。投稿者が指定期日までに修正指示に従わない場合、編集委員会は掲載許可の決定を取り消すことができる。

(特別号の原稿)

第12条 特別号を発行するための原稿依頼は、編集委員会が行う。

2 特別号には第6条(3)および(4)に掲げる者の原稿は掲載しない。

(著作権)

第13条 本誌に掲載された論稿の著作権は、立命館大学国際関係学会に帰属する。

(解釈・運用)

第14条 この規程の解釈・運用に関して疑義が生じたときは、編集委員会が決定する。